

# まちの話 だい

## 4月19日 | 活発な新茶の商いを願い

島田地域で新茶シーズンの幕開けを告げる新茶初取引式が行われ、早朝から生産者や茶商など多くの茶業関係者が集まりました。

鐘の合図で商談がスタートすると、買い手は拝見盆に広げられた新茶の出来栄えを確かめ、売り手と互いにそろばんを弾いて価格を交渉。値が決まるたび、会場には両者が「シャン・シャン・シャン」と威勢良く行う手合わせの音が響きました。



## 4月28日 | つながる楽しさを実感

島田市障がい者福祉連絡会が「バリアフリーてけてけ隊・春の島田市商店街探検ツアー」を開催。しまだ元気市と併せ、多くの人でにぎわいました。

心のバリアフリーを広める目的で始まった同イベントは、今回で5回目。会場のおび通りでは、ステージショーが行われたほか、工作やメイク体験ブースなどが設けられ、障害の有無に関わらず誰もがつながりを楽しめる一日となりました。

## 4月29日 | 昭和の名車が大集結

第4回「昭和のモーターショー」が島田市博物館で開催され、昭和時代に活躍した名車約100台が県内外から一堂に会しました。

会場には、1960～70年代の車を中心に、国産車のほかドイツやイギリスなど国内外の貴重な名車・旧車を数多く展示。来場者は、運転席やエンジンルームをのぞいたり記念撮影をしたりして、昭和の空気を懐かしんでいました。





## 4月19日 | かれんな花々が満開

千葉山ハイキングコースにある「どうだん原」で、ドウダンツツジの花が見頃を迎えました。

「スカイペンションどうだん」から15分程歩いた先に、約8,000本のドウダンツツジが自生しています。春にはスズランのような釣り鐘状の白い花を咲かせ、漢字で「満天星」と書くその名のとおおり、その情景は夜空に浮かぶ星々を思わせます。かれんな花々は、訪れたハイカーたちを和ませていました。

## 4月23日 | 春を誘う新茶の香り

新茶シーズンの到来をPRするため、市役所ロビーで島田市茶業振興協会島田支部による呈茶サービスが行われました。

茶葉は、牧之原台地で20日に収穫・製茶されたばかりの「やぶきた」。日本茶インストラクターらが丁寧に淹れ、茶娘から来庁者に振る舞われました。26日までの期間中、多くの人が香り豊かで滋味あふれる新茶を、一足早く堪能していました。



## 4月24日 | 新病院の現場を見学

新市民病院の建設現場で開かれた建設工事見学会に、島田北幼稚園の園児約80人が招かれました。

子供たちは、建設予定地である現市民病院の東側駐車場で進む「くい打ち」や「免震基礎工事」を見学。施工業者の案内で現場の作業構台を回った園児は皆、巨大なタワークレーンの動く姿や重機が地下にくいを打ち込む様子を間近で見て、歓声を上げていました。